

東京シニアビジネスグランプリ

# FINAL

ファイナル

次 第

## 【第1部：ファイナリスト プレゼンテーション】

- 13:30 オープニング  
主催挨拶  
審査委員紹介  
ファイナリスト紹介
- 13:40 ファイナリスト・プレゼンテーション (前半)
- 14:30 (休憩)
- 14:40 ファイナリスト・プレゼンテーション (後半)
- 15:30 (休憩)

## 【第2部：基調対談／表彰式】

- 15:45 基調対談
- 16:45 (休憩)
- 16:55 発表・表彰
- 17:10 講評
- 17:20 エンディング

イベント終了後、こちらのQRコードよりアンケートへのご協力をお願いします。



広がる可能性

55歳からの起業

東京シニアビジネスグランプリ

# FINAL

ファイナル

東京シニアビジネスグランプリは、シニア世代の起業機運を高めるため  
令和元年度から開催するビジネスプランコンテストです。

厳しい審査を勝ち抜いたファイナリスト10名の  
プレゼンテーションにご期待ください！

<https://www.tokyo-kosha.or.jp/station/grandprix/index.html>



お問い合わせ >>> 東京シニアビジネスグランプリ事務局(受託事業者:株式会社日広通信社)  
電話:03-3233-8385 メール:info\_jmk@55-bgp.jp

主催 公益財団法人 東京都中小企業振興公社





入山 公成 さん finalists 01

ペット用オーラルケア製品の製造販売業

プラン内容

ペット飼い主の悩みに歯周病からくる口臭があります。予防には日常の歯磨きが必要ですが、多くの飼い主は実施しておらず、市販の代替品でも作用が十分でないケースが多くあります。そこで医薬品の技術を活かして、これまでにないペット口腔内に貼るタイプのフィルム剤を開発し、販売いたします。動物病院やEC等で販売し、ペットの健康意識啓発に繋げ、ペットと人のQOL向上に貢献したいと考えています。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

数年前、保護猫を飼うことになりました。ペットの飼い主としてペットの体格・習性に合ったヘルスケア製品がまだまだ少ないことに気づき、35年間の医薬品の研究開発で培ってきたノウハウを活かし、革新的なモノづくりにチャレンジしたいと考えました。事業を通じて海外に押されている製造産業の復権に貢献し、若者に繋げるために同じ志のシニア仲間を集い、起業を決意しました。

Profile

35年間、製薬会社数社で研究開発に携わる。これまで多くの医薬品・ヘルスケア製品を開発し国内外に上市。医薬品技術を応用展開し、ペット分野で国内外にない新製品を開発。2023年7月に新会社(株)ペティーナを発足。多種多様な経験と製剤設計が強み。



太田 泉 さん finalists 02

家族の記念日を笑顔の美記憶にする事業

プラン内容

多忙な現役世代は仕事を優先し、家族や友人への時間投資を軽視しがちです。でも大事な時間は巻き戻しできません。「グランアンバーサリー」は、自宅で家族や友人と一緒に過ごす記念日を、一生モノの美記憶にするエンターテインメント事業です。ハレの日のテーブルウェアや豪華なクッキング用品をキット化してレンタル提供しますが、モノより大事にしているのは「家族の挑戦を応援し、絆を感じる体験」をご提供することです。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

マイクロソフトで「児童1人1台にパソコンを配る事業」を完遂させた後、58歳でアーリーリタイアしました。働き過ぎだった半生を猛省して「ゴキゲンとヤリガイのワークライフバランス」をテーマにシニア起業。長年のプロデューサー経験を活かして多忙な共働き世帯を「映える手抜き」で支援し、「記念日をエンターテインメント」に演出します。また極小企業でも大きな社会貢献を実現するため「製作委員会型運営」にも挑戦します。

Profile

パイオニアでアニメやゲーム、映画配給を事業プロデュース。教育ICTを唱えて、電子黒板を開発し、政府・省庁へロビイングを開始。マイクロソフトに転職。全国教育ICT首長協議会設立に参加、GIGAスクール政策に結実。59歳でDishAppを創業。



加瀬 俊一 さん finalists 03

高い運動パフォーマンスを支えるウェア

プラン内容

セカンドスキンに近いストレスフリーで機能性の高い素材を採用し、使用用途に適したパターン及び縫製仕様により動きやすさを追求し、四季や天候変化に対応し常に衣服内環境を快適にするウェアを提供します。演出家の求める動きを的確に表現でき、最高のパフォーマンスを常に発揮できることでパフォーマンスとしての信頼性を高めることにも貢献します。ウェアは日本国内工場で縫製し、安定した品質で提供します。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

コロナの影響及び親の介護で退職したことをきっかけに、40年間培った経験、ノウハウ、人脈といった強みを活かして起業しました。生産者都合・低価格競争へのアンチテーゼを含め、大手メーカーではできないようなタイムリーな企画提案を、イタリアを中心とした最新開発素材・附属を採用して立案し、小規模だからこそ可能なスピード感、きめ細かい対応で、顧客要求を超える満足度の高い製品を提供したいと思います。

Profile

やまもと寛斎、パールイズミ、ゴールドウインで最先端のファッションとスポーツウェア開発に携わり、日本代表ウェアなどの製作を行う。独自ベンチレーションシステム開発では特許・意匠出願、職務発明実績表彰を受ける。ファッションと機能の融合を目指す。



神原 久 さん finalists 04

高齢者と環境に優しいスマート中古車の販売

プラン内容

高齢者の愛車探しを安全とエコにこだわり支えていく、新しい形の中古車販売業です。「人生最後の愛車選び」をテーマに、希望に添った中古車探しをお手伝い。安全性、信頼性を徹底的にチェックして必要な調整を行い、ベストコンディションで納車します。その際は各機能の取り扱いやエコ運転の方法をレクチャー。環境性能に関するアップグレード情報の提供や事故対応の相談など、楽しく安心なエコカーライフを末永くサポートします。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

30年以上、メディアとして自動車業界に寄り添いながら取材を続ける中で、そこに従事するさまざまな人々に出会い刺激を受けてきました。漠然と「クルマに関わる事業に直接取り組みたい」と思い始めたのは、50代に入ってから。その第一歩と考えて、事故記録装置に関する民間認定資格を取得、それを活用して社会に貢献できるビジネスモデルを模索してきました。積み重ねてきた経験値を活かしての「転生」願望も、実はあります。

Profile

1964年生まれ。1987年慶応義塾大学法学部法律学科卒。自動車専門出版社に入社し、編集記者および編集長として、自動車専門誌ほかさまざまなメディアの企画・製作に携わってきた。2020年にボッシュ認定CDRアナリスト資格を取得。



小山 克子 さん finalists 05

東京和茶体験

プラン内容

海外における和食・日本酒ブームの中、日本茶の良さも広く知っていただきたく、効能や点て方(入れ方)についての出前ワークショップをお届けします。  
訪日客の隙間時間に、東京ならではの希少な東京産狭山茶を使い、カジュアルに楽しく、日本文化に触れる体験を提供します。インバウンド客向け予約サイトにて集客し、カフェの一角やレンタルスペースなどで展開し、言語対応は翻訳アプリとプロジェクターを用いて行います。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

私はこれまで広報PR部門で新商品のヒットに貢献したり、会社として初の事業立ち上げに携わるなど、数多くのPR活動を推進してきました。しかし役職定年により挑戦の場が限定的になってくると、社会に対して何か自分ならではの価値提供をしたいという思いが募り、起業を決意しました。  
今回はスモールスタートの副業起業ですが、ここから足場を固め、ゆくゆくは地元商店の広報相談茶屋を開設したいと考えています。

Profile

30年以上電気精密会社にてブランディングやマーケティングコミュニケーションなどに従事。現在は、企業広報のエキスパートとして、さまざまな部門が行うPR活動に対して攻めと守りの両面から各種アドバイスをしています。PRプランナー。東京都出身。



新村 美和子 さん finalists 06

循環型生活を広げるコンポストの専門店

プラン内容

コンポストを楽しむ暮らしの専門店を開業して、サステナブルな暮らしを広げていく事業です。  
コンポストがあれば家庭で出る生ごみをゼロにして、暮らしの中に小さな循環を作ることができます。でも、「虫や臭いが心配」と導入をためらう方が多いのが現状。そこで手間がかからず、失敗の少ないお洒落なコンポストを厳選し、講座や手作りワークショップ、レンタルサービスも提供することで、コンポストとの出会いの場を作ります。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

NHKで長年、番組作りを通して環境問題の情報発信をする中で、定年退職後はビジネスとして環境課題にとりくんでみたいと考えてきました。そこで注目したのが、3年前に家の庭で始めたコンポストです。生ごみがなくなる快適さと日々、土に触れる楽しさにすっかり魅了されました。そして10種類のコンポストを試してみたところ、本当に使いやすいタイプのコンポストが入手しづらい状況にあることに気づき、創業を思いました。

Profile

東京大学教養学部を卒業後、NHKで36年間、番組制作と国際発信に携わり、環境問題の番組を40本以上制作。夫と双子の息子との4人家族。土のコンポスト「キエーロ」普及を進めるキエーロオフィシャル事務局運営メンバー及びLFCコンポストアンバサダー。



田村 哲雄 さん finalists 07

社会インフラ設備を支えるAI赤外線サーモ

プラン内容

従来の赤外線サーモによる社会インフラの故障予知・診断には、計測とデータ解釈のノウハウが必要で、そのノウハウを有するベテラン技術者の高齢化と人手不足が問題となっています。正確かつ簡便に計測とデータ解釈を可能とするAIを搭載した赤外線サーモとそれを核としたソリューションを開発し提供します。人手不足を解消し、事故を未然に防ぎ、安心安全に社会・経済活動ができるサステナブルな社会基盤の構築・維持に貢献します。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

赤外線サーモは、技術革新により小型・高性能・低価格化が進んでいます。しかし、赤外線サーモによる社会インフラの故障予知・診断には、計測と解釈のノウハウを持った技術者が必要で、ベテラン技術者の高齢化と人手不足が普及の妨げとなっています。長年開発に携わってきた赤外線サーモに、計測診断技術ノウハウとAI技術を組合せ、社会インフラの故障予知・診断に特化した赤外線サーモの事業化が可能と考えました。

Profile

東京農工大工学部応用物理学科卒業後、医療機器・工業計測機器メーカーに入社、赤外線サーモの開発に従事。エンジニアとして企画から販売まで広い領域に携わり、その後事業責任者を経験した。長く携わった赤外線サーモを活用し広く社会実装したいと考えている。



成家 幸樹 さん finalists 08

クリエイター作品の「NFT化と販売」代行

プラン内容

NFTと呼ばれる新技術が世の中を変えつつあります。NFTで成功した人がいる一方で、クリエイターの中には関心はあるものの「仮想通貨」や「ウォレットの用意」などのハードルが高く、なかなか踏み出せない課題があります。これを解決するためにクリエイター作品の「NFT化と販売」の支援サービスを行います。しかも「売れたら利益を分け、売れない場合は費用0」で行い、「NFTを全てのクリエイターに開放する」というゴールを目指します。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

大学生の頃に「クリエイティブな仕事をしたい」と思い、ずっと広告クリエイターをやってきましたが、クライアントである事業会社のビジネスに触れるに従って、新製品や新サービス開発や運用のクリエイティブさやイノベティブさに関心が移っていきました。そんな数年間を過ごす中で、「NFTと呼ばれる新技術の斬新さ」に出会い、NFT関連で目指すべきもの(解決すべきもの)が見つかったので起業を決意しました。

Profile

20年以上広告代理店で、最初はコピーライター、その後クリエイティブ・ディレクターとして、CMや広告を制作。その過程でNFTに出会い、NFTサービス会社のマーケティング担当に。国内外のさまざまな事例をリサーチし、今回の起業に至る。





finalists

長谷 佳美 さん

finalists

09

外国人×賃貸仲介の課題をITで解決する

プラン内容

「クリックではじめる生活」。不動産賃貸事業者向け総合オンライン取引サービスの開発と運営。不動産に特化したAIを駆使して問合せに対応するほか、入居申込、アポ取り、スケジュール管理と家賃保証、入居後の管理サポート、ライフラインの取次代行などをワンストップで行います。多言語対応で外国人にもメリットが高いサービス。賃貸取引の円滑化およびスピードを高め事業者の売上アップと入居者の負担を減らします。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

昨今のビジネスはDX化が必須となっている関係で若い男性が圧倒的に多いのが実情です。本当は社会経験の豊かな人材こそ社会に貢献していける力を持っていると思います。勤めあげたら静かに隠居生活を楽しむという思考ではなく、人生100年時代に残りの人生を生かし、しっかりとしたガバナンスを作っていく気概を持って活躍すべきであると思います。私が起業することで元気な経営者が続けばこれほど嬉しいことはありません。

Profile

東京出身、川崎市在住。2019年7月にスマイルホーム株式会社を設立し、多言語によるオンライン不動産取引のためのSaaS事業を展開。米国大学院を卒業後、友人と企業広報の会社を共同経営。クライアント企業に18年勤務。再度起業し現在に至る。1男1女の母。



山名 一重 さん

finalists

10

世界に向け玩具の企画提案を行う事業

プラン内容

玩具のアイデアを全世界の玩具メーカーに提案し、採用の対価として契約費やロイヤリティを得る事業です。私自身の過去の提案実績やヒット商品のマーケティング知識・中国内の新規ネットワーク構築・ジャンルにこだわらない提案等から、多くの提案競合他社の従来型提案との圧倒的な差別化を図りたいと考えています。世界中の子ども達の記憶に残るようなアイデアの創出により、全ての人が夢を持てるような事業を目指したいと考えています。

シニアで起業しようと思ったきっかけ

思い返せば、上司や部下、取引先など業界の多くの方が独立しています。間もなく定年が近づき、この先の人生を考えた際に独立が候補の一つでした。今までの経験や実績を活かすような事業での起業をイメージしました。一方、30年以上玩具業界に在籍しながら最もやり残したことは「世界制覇」です。より世界に近づくために、自分の考えをフルに活かし既存提案方法を新たに構築すべく、起業を選択しました。

Profile

大学卒業後、玩具部門にて国内の企画・マーケティングに従事。その後、玩具関係の企業にて海外への企画提案事業に従事、さらに別の玩具メーカーにて企画提案を含む玩具国内・海外事業全般を取り仕切る。2023年10月に法人設立、2024年1月から本格始動。



基調対談

「人生100年時代のキャリア開発と人生設計  
～定年後キャリア請負人に聞く、シニア起業の秘訣～」

大杉 潤 氏

青木 源太 氏

『定年ひとり起業』の著者で、定年後キャリアの請負人の大杉潤さんに、「シニア起業の秘訣」について話を伺う基調対談。人生100年時代に生涯現役のライフスタイルを目指すためのトリプル・キャリアについての考え方や、57歳で独立起業した体験から感じた、シニア起業のメリット・デメリットなど、シニア起業を考える人が参考になる話を伺っていきます。

大杉 潤 氏

Ohsugi Jun



1958年東京都生まれ  
早稲田大学政治経済学部卒業  
日本興業銀行(現・みずほフィナンシャルグループ)に22年間勤務の後、東京都へ転職して新銀行東京の創業メンバーに。人材会社、グローバル製造業の経営企画・人事責任者を経て、2015年に独立・起業してフリーランスに。現在はフリーの研修講師、経営コンサルタント、ビジネス書作家。静岡放送SBSラジオ『IPPO』に毎月レギュラー出演のほか、NHK『あしたも晴れ!人生レシピ』、テレビ朝日『スーパーJチャンネル』、文化放送『ロンドブーツ1号2号田村淳のNews Club』に出演。

青木 源太 氏

Aoki Genta



1983年愛知県岡崎市生まれ  
慶應義塾大学卒業  
2006年にアナウンサーとして日本テレビへ入社。巨人戦や箱根駅伝などのスポーツ実況や、『PON!』『バゲット』『火曜サプライズ』のMCなどを担当。現在はフリーアナウンサーとして「日本一のイベント司会者」を目指し、年間約100本を超えるイベント司会を担当しており、防衛省広報アドバイザー、東京都お金を学ぼうアンバサダーなど様々な広報活動にも従事している。10月より関西テレビの最新情報番組『旬感LIVE とれたてっ!』のメインMCを務める。

審査委員  
Profile

審査項目

- 1 経営理念・ビジョンの明確さ
- 2 ビジネスモデルの実現性・収益性
- 3 市場の理解度
- 4 計画の妥当性
- 5 プレゼンテーション力

Kagami Shigeo



審査委員長

各務 茂夫 氏

東京大学 大学院工学系研究科 教授/産学協創推進本部 副本部長/日本ベンチャー学会 会長

一橋大学卒、スイスIMD経営学修士、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストンコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション(CDI)の設立に参画。2004年東京大学産学連携本部 教授就任以来、大学発ベンチャー支援、アントレプレナーシップ教育等に取り組む。

Takahashi Yuki



高橋 ゆき 氏

株式会社ベアーズ 取締役副社長

家事代行ベアーズの取締役副社長。香港でメイドに支えられた原体験から1999年に夫婦で創業。以来業界のバイオニア、リーディングカンパニーとして邁進。家事代行サービス協会会長。家事研究家、日本の暮らし方研究家としても活動。また、働き方改革は暮らし方改革とともに!に推奨し、半生をかけて、お茶の間のあわせ度数向上(日本をウェルビーイングな国)に向け活動中。「逃げるは恥だが役に立つ」「極主夫道」、『おっさんずラブ-リターンズ-』の家事監修などメディアを通じて活躍。

Yamaguchi Satomi



山口 里美 氏

株式会社グランサクスード 代表取締役

行政書士法人みらいリレーション代表社員、一般社団法人日本リレーションサポート協会代表理事、グランサクスードグループ代表。1997年司法書士事務所、1999年行政書士事務所開業。資格者法人の経営に取り組みながら「人と事業のリレーション」に特化したシニアのためのサロン運営、応援事業を展開。年間講演は70回以上、著書・監修書は14冊。やまがた特命観光・つや姫大使。

Kodaira Kazuyoshi



小平 和良 氏

株式会社日経BP 経営メディアユニット長補佐/日経トップリーダー 前編集長

1997年早稲田大学第一文学部卒業。化学メーカー、通信社での勤務を経て2000年に日経BP入社。日経ビジネス編集部にて自動車業界や金融業界を担当。2006年に日本経済新聞社消費産業部に出向し、百貨店やスーパーなどを取材。2009年に日経BP社に復帰し、2012年から副編集長、2014年4月から2018年9月まで上海支局長。

Fujimi Kanae



藤見 佳奈枝 氏

株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業本部 東京創業支援センター 所長

入庫以来、大手町支店(現東京支店)、名古屋支店、本店創業支援部にて数多くの創業融資に携わる。その後、堺支店の融資課長を務め、地域の民間金融機関や支援機関と連携した協調融資等に取り組む。2021年3月、東京創業支援センター所長に就任。創業者向けのセミナーの企画・開催、シニア起業家やベンチャー企業への資金調達支援等を担当している。